



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 BASE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4477 URL https://binc.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 鶴岡 裕太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 原田 健 (TEL) 03(6441)2075  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,124	—	△28	—	△26	—	△29	—
2019年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △29百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 -百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△1.43	—
2019年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2019年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	8,848	3,129	35.4
2019年12月期	10,458	3,158	30.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 3,129百万円 2019年12月期 3,158百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,292 ~5,546	37.5 ~44.1	△391 ~55	—	△391 ~55	—	△393 ~15	—	△19.29 ~0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	20,417,400株	2019年12月期	20,413,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	20,415,131株	2019年12月期1Q	一株

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年5月18日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用します決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「Payment to the People, Power to the People.」をミッションとして掲げ、Eコマースプラットフォーム「BASE」を提供するBASE事業、オンライン決済サービス「PAY. JP」及びID決済サービス「PAY ID」を提供するPAY事業を展開しており、これらのサービスを通して、SMB(Small and Medium Business)層をエンパワーメントすること、スタートアップ企業を支援することに注力しております。

経済産業省発表の「平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備に関する報告書」によると、国内BtoC-EC市場規模は、2022年には26.0兆円まで拡大すると予想されております。このような事業環境において、BASE事業では、新規ショップ開設を加速させるための積極的な投資、より幅広いユーザーの利用を促進するための機能開発、拡張機能の強化等の継続利用ショップの成長を支援するサービスの拡充により長期的な利用とLTV(Life Time Value)の向上に努めております。一方、PAY事業では、スタートアップ企業やベンチャー企業をターゲットにマーケティング活動を進めるとともに、プロダクトを強化し、加盟店数の拡大に努めております。

なお、当社グループの当第1四半期における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であります。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は1,124,452千円、営業損失は28,000千円、経常損失は26,823千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は29,134千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### A) BASE事業

BASE事業では、引き続き広告宣伝への投資を行うことで、ショップ開設数は順調に推移いたしました。また、物流倉庫や配送システムとのシームレスな連携や、より多くのファンに向けて商品を販売する機能などの拡張機能の強化やキャッシュフローの早期化等、継続利用ショップの成長を支援するサービスを拡充いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間における流通総額は12,532,548千円(注文ベース)、10,983,715千円(決済ベース)となりました。

以上の結果、売上高は933,514千円、セグメント利益は56,020千円となりました。

#### B) PAY事業

PAY事業では、オンライン決済サービス「PAY. JP」及びID決済サービス「PAY ID」を提供しており、当第1四半期連結累計期間では登録加盟店数は堅調に推移し、流通総額は7,018,841千円となりました。

以上の結果、売上高は184,890千円、セグメント損失は25,435千円となりました。

#### C) その他事業

その他事業では、「BASE」を利用するネットショップ運営者等に対して事業資金を提供するサービス「YELL BANK」等を提供しており、2018年12月のサービス提供開始以降、利用者数は堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は6,047千円、セグメント損失は10,881千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,848,955千円となり、前連結会計年度末に比べ1,609,846千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,484,513千円、未収入金が163,346千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,719,524千円となり、前連結会計年度末に比べ1,580,963千円減少しました。これは主に、営業預り金が1,557,531千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,129,430千円となり、前連結会計年度末に比べ28,882千円減少い

たしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が29,134千円減少したものであります。また、2020年2月20日開催の取締役会に基づき、累積損失を早期に解消し、今後の柔軟かつ機動的な資本政策を実現するため、資本剰余金1,130,856千円を減少し、利益剰余金に1,130,856千円振り替えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月13日に公表した2020年12月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は織り込んでおりません。

また、現時点で業績への影響を見通すことが困難な状況なため、2020年2月13日に発表した業績予想は据え置き、今後の状況及び事業動向を見極めながら、業績予想の修正が必要となりましたら速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,195,414	5,710,901
未収入金	2,804,308	2,640,962
その他	112,584	138,656
貸倒引当金	△47,448	△51,879
流動資産合計	10,064,859	8,438,641
固定資産		
有形固定資産	122,494	139,627
無形固定資産	2,209	3,887
投資その他の資産	269,238	266,798
固定資産合計	393,942	410,314
資産合計	10,458,801	8,848,955
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,918,629	4,004,643
営業預り金	3,002,191	1,444,660
その他	323,382	204,576
流動負債合計	7,244,203	5,653,880
固定負債		
その他	56,284	65,643
固定負債合計	56,284	65,643
負債合計	7,300,488	5,719,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,275,957	2,276,083
資本剰余金	2,216,838	1,086,108
利益剰余金	△1,334,482	△232,760
株主資本合計	3,158,313	3,129,430
純資産合計	3,158,313	3,129,430
負債純資産合計	10,458,801	8,848,955

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,124,452
売上原価	476,369
売上総利益	648,082
販売費及び一般管理費	676,083
営業損失(△)	△28,000
営業外収益	
受取利息	25
講演料等収入	528
協賛金収入	510
その他	112
営業外収益合計	1,177
経常損失(△)	△26,823
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,823
法人税等	2,311
四半期純損失(△)	△29,134
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,134

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△29,134
四半期包括利益	△29,134
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,134



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本準備金の額の減少及び剰余金の処分

(1) 会社法第448条第1項の規定に基づき、2020年2月20日の効力発生をもって、資本準備金の一部を減少させ、その他資本剰余金に振り替えました。

① 減少した準備金の額

資本準備金 1,130,856千円

② 増加した剰余金の額

その他資本剰余金 1,130,856千円

(2) 会社法第452条の規定に基づき、上記資本準備金振替後のその他資本剰余金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損を補填いたしました。

① 減少した剰余金の額

その他資本剰余金 1,130,856千円

② 増加した剰余金の額

繰越利益剰余金 1,130,856千円

新株の発行

当社は、当第1四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の行使により資本金が126千円、資本剰余金が126千円増加しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	BASE事業	PAY事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	933,514	184,890	6,047	1,124,452	—	1,124,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	933,514	184,890	6,047	1,124,452	—	1,124,452
セグメント利益又は損失(△)	56,020	△25,435	△10,881	19,702	△47,703	△28,000

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,703千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。